

名古屋大学大学院多元数理科学研究科
平成23年度教育・研究活動
年次報告書

平成24年10月

名古屋大学大学院多元数理科学研究科

(5) 授業時間割

平成23年度前期時間割 (数理学科)

		1年生	2年生	3年生	4年生
月	1	数学展望I (永尾)			
	2	数学演習I (松本詔・飯島・加藤・塩見・山路)			確率論I (稲浜)
	3			幾何学要論 I (納谷)	数理科学展望III (伊山・ガイサ・宮地)
	4				
火	1			解析学要論 I (伊師)	代数学統論 (藤原)
	2				
	3		数学演習III・IV		代数学I (ガイサ)
	4		(川村・笹平・長尾)		幾何学I (ヘッセルホルト)
水	1		現代数学基礎 B I (松本耕)	解析学要論 II (杉本)	数理解析・計算機数学 II (内藤・久保)
	2				
	3				
	4				
木	1		現代数学基礎 C I (橋本)	代数学要論 I (伊山)	解析学統論 (山上)
	2				
	3		複素関数論 (川平) ※全学教育科目	数学演習VII・VIII	解析学II I (青本)
	4			(糸・笹原)	数理物理学I (栗田)
金	1			数学演習IX・X	幾何学統論 (森吉)
	2			(鈴木・佐藤猛)	
	3		現代数学基礎 A I (行者)		数理解析・計算機数学特別講義 I (田中・間瀬・村松)
	4				

平成23年度後期時間割 (数理学科)

		1年生	2年生	3年生	4年生
月	1			数理科学展望 I	
	2			(金銅・齊藤・浜中)	代数学II (中西)
	3			現代数学研究 (菅野)	解析学IV (菱田)
	4				
火	1			代数学要論 II (岡田)	
	2				確率論II (宇沢)
	3		現代数学基礎 C III (大沢)		
	4				数理科学展望IV (庄司・ヘッセルホルト・橋本)
水	1		現代数学基礎 A II (小林)	数理解析・計算機数学 I	数理解析・計算機数学 III (ガリグ)
	2	数学演習 II (森山・飯島・恩田・塩見・山路)		(久保・内藤・笹原)	
	3				
	4				
木	1		計算数学基礎 (川平・佐藤猛)	解析学要論 III (菱田)	
	2				幾何学 II (楯)
	3	数学展望 II (松本耕)	現代数学基礎 B II (伊藤)		
	4				
金	1		数学演習 V・VI	幾何学要論 II (太田)	
	2		(加藤・浜中・宮地)		数理物理学 II (南)
	3		現代数学基礎 C II (永尾)		数理解析・計算機数学特別講義 II (織田・岸本・日比)
	4				

(4) 授業時間割

平成23年度前期時間割 (大学院)

		4年生と共通	大学院のみ
月	1		
	2	確率論概論I (稲浜)	代数幾何学特論II (金銅)
	3	数理科学展望 I (伊山・ガイサ・宮地)	
	4		
火	1	代数学概論 I (藤原)	
	2		
	3	代数学概論VI (ガイサ)	複素解析特論I (川平)
	4	幾何学概論V (ヘッセルホルト)	
水	1	数理解析・計算機数学概論 II	
	2	(内藤・久保)	数論特論II (ガイサ)
	3		予備テスト基礎演習 (林・古庄)
	4		
木	1	解析学概論 I (山上)	
	2		
	3	解析学概論II (青本)	
	4	数理物理学概論I (栗田)	
金	1	幾何学概論 I (森吉)	
	2		
	3	社会数理概論 I	
	4	(田中・間瀬・村松)	

平成23年度後期時間割（大学院）

		4年生と共通	大学院のみ
月	1		
	2	代数学概論II（中西）	
	3	解析学概論VI（菱田）	
	4		
火	1		
	2	確率論概論II（宇沢）	特殊関数論特論I（ヘルシェン）
	3		解析学特論II（青本）
	4	数理科学展望II（庄司・ヘッセルホルト・橋本）	
水	1	数理解析・計算機数学概論III	
	2	（ガリグ）	
	3		
	4		
木	1		
	2	幾何学概論VI（楯）	数論特論I（吉田）
	3		表現論特論I（庄司）
	4		
金	1		
	2	数理物理学概論II（南）	
	3	社会数理概論II	
	4	（織田・岸本・日比）	

VI-C 就職・同窓会委員会

19年度3月に委員長が同窓の先輩がたと懇談の機会をもち、活動方針を決めた。その際にとくに問題になったのは、会社セミナー、ミニ同窓会への学生の出席率の低さであった。従来通り2月開催では、学生はすでにどの会社に行くか、ターゲットをしぼって活動しており、また講義期間中ではないため出席率が低くなると考えられた。11月または12月開催を検討して、会社の方々と相談のうえ、12月開催に変更した。参加者も増えた。また、志望会社など決まらない段階でいろいろな会社の説明をきき、その後の懇親会で先輩方にいろいろリラックスした状況で質問ができるなど参加者にとっても好評であった。平成23年3月15日に日本経済団体連合会より、「採用選考に関する企業の倫理憲章」が公表され、「インターネット等を通じた不特定多数向けの情報発信以外の広報活動については、卒業・終了学年前年の12月1日以降に開始する。」と明記されているので、会社セミナー等は12月1日以降開催する、という方針は堅持していく。23年度も12月10日に開催し、会社、学生ともに参加者が増えた。ミニ同窓会は学生が就職活動にはいる前に、実際に社会で活躍されている先輩方と話しをすることにより、視野を広げるために重要な役割を果たしている。更に周知して参加者を増やしたい。学生に対するキャリア教育の一環として、6月に「働くこと&インターンシップセミナー・数学教室ミニ同窓会」を22年度より開催している。

数学の博士の学生の会社への就職は米国、中国では一般的であるが、日本ではまだめずらしい。会社とのインターンシップなどは24年度も検討課題であるが、22年度に2名が就職し、活躍しているのは大変喜ばしい。このように博士の採用に積極的な会社も増えているので数年したら博士の学生の就職の状況は劇的に変化する可能性がある。リーマンショック後も、修士卒が欲しいという会社が多い。多元数理科学研究科として、修士、博士といった高度な専門性を持つ社会で活躍できる人材を養成することは急務であると考えられる。

同窓生の尽力による企業との連携による講義も好評である。会社説明会、ミニ同窓会等同窓生の方々のご協力に深く感謝する次第である。

企業との連携による講義 (平成23年度)

統計・情報数理概論 I

前期 原 重昭 日本アクチュアリー会 正会員

統計・情報数理概論 II

前期 坪野 剛司 (社)日本年金数理人会・顧問/元内閣官房内閣審議官
渡部 善平 (株)IICパートナーズ 年金コンサルティング部長
枇杷 高志 (有)あずさ監査法人・アソシエイトパートナー

社会数理概論 I/II

前期 村松 純 日本電信電話株式会社
NTTコミュニケーション科学基礎研究所 研究主任
田中 祐一 トヨタファイナンス株式会社
カード本部 カード企画部 事業企画G 主幹
間瀬 順一 アイシン・コムクルーズ株式会社 グループマネージャー

後期 岸本 敏道 株式会社 日立製作所 RAIDシステム事業部 技師
織田 一彰 スローガン株式会社 取締役
日比 政博 名古屋工業大学大学院 工学研究科 つくり領域 特任研究員

応用数理特別講義 I/II

前期 松崎 雅人 東邦冷熱株式会社 顧問
市川 英彦 株式会社NTTドコモ 東海支社 法人営業部 部長
トヨタ自動車株式会社
島 航太郎 第1シャシー開発部 サスペンション機能開発 グループ長
渡部 善平 株式会社 IICパートナーズ シニアコンサルタント
山田 博司 NTT情報流通プラットフォーム研究所 主幹研究員

後期 佐藤 淳 名古屋工業大学大学院 情報工学専攻 教授
平家 達史 日本銀行 名古屋支店 営業課長
松井 一 豊田工業大学 電子情報分野 准教授
高橋 友則 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
フィナンシャルエンジニアリング部 クオオンツ課 部長代理
嶋田 芳仁 株式会社 アドバンストアルゴリズム&システムズ 主任研究員